

日本分析化学会九州支部

支部ニュース

第 21 号 2010.2

会員拡充キャン
ペーン実施中!!
(p.7-8)

何県のシンボルマークでしょう？



九州支部ホームページ

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2009 年度 日本分析化学会九州支部事務局
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門
食品バイオ工学講座 内

支部ニュース Vol.21 目次	
九州支部からのご挨拶	・・・ 1
支部活動報告	・・・ 2
・夏季セミナー開催報告	・・・ 3
お知らせ	・・・ 5
事務局より	・・・ 7

九州支部からのご挨拶

支部長退任のご挨拶

2009年度 九州支部長 下田満哉

(九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門)

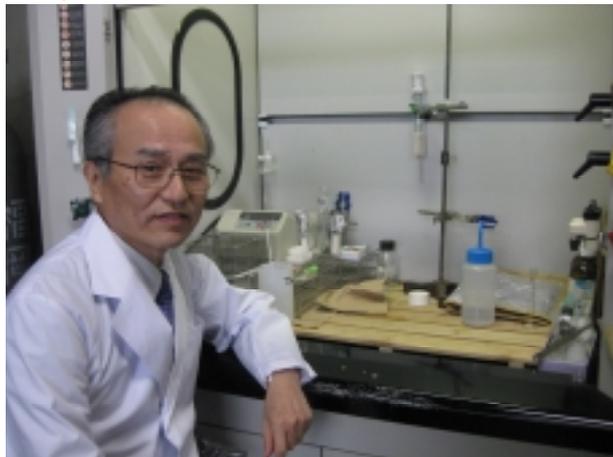
平成 21 年度の支部長を務めさせて頂きました。私の非力さ加減にも拘わらず、どうにか一年間の支部活動を運営することができましたのも常任幹事や幹事の先生方のお力によるものであり厚く感謝申し上げます。さらには、無理なお願いにも拘わらず支部奨励賞やポスター賞の選考委員をお引き受け頂いた先生方に御礼申し上げます。井上および横下両副支部長には支部運営に大いに協力して頂きました。なかでも私が所属している農学研究院のカラーを少し出したいとの思いから、「食の安全・安心のための業務をしておられる(株)キューサイ分析研究所」で見学会を行えたのは幸いでした。

今回、支部活動を通して非常に多くの方々とお話しする機会がありましたが、若手の交流と活動が非常に活発であるということに改めて実感しました。これも 20 年を越える活動実績があつてのことだと思います。特に、夏期セミナーの盛況ぶりには驚かされました。九州一円から集まった多くの学生と若手の先生方が一堂に会し、寝食を共にしながら研究面では切磋琢磨する風景は、頼もしく感じられました。若手の活動(春の講演会・夏期セミナー)を今後とも支援していくのは支部の将来を決する大事と考えます。学会本部の会計も非常に厳しくなる中で、支部会計の運用にも新たな方向性を模索する時期かもしれません。

今年、当支部主催の分析化学講習会が 50 周年を迎えました。これを記念して、実行委員長経験者、分析機器提供会社関係者、今年の実行委員をメンバーとして昨年 11 月 5 日(水)、福岡ガーデンパレスにて祝賀会を開催致しました。振り返りますとバブル期には悲鳴を上げるほど多くの参加者がありましたが、今年は世界的な景気後退の影響が本講習会にも現れてきたように思われました。このような節目に当たって、講習会の開催方法を少しだけ変えてみたいと思っています。もちろん当支部が主催しますが、(財)九州大学学術研究都市推進機構ならびに九州大学中央分析センターの協力を得ながら新しい体制を構築できないか試行して行きたいと

考えています。

最後になりましたが、会員の皆様に次期執行部へのご支援をお願いして、退任の挨拶とさせていただきます。



支部長就任のご挨拶

2010年度 九州支部長

山口敏男

(福岡大学理学部)



平成 22 年度日本分析化学会九州支部長を仰せつかるに当り一言ご挨拶を申し上げます。私は、1986 年に福岡大学理学部に赴任して以来、今年が福岡在住 24 年目を迎えることになります。福岡はこれまでの人生で一番長く過ごした土地になり、家族ともどもすっかり九州人になりました(ちなみに生まれは兵庫県で関西人です)。私の専門は溶液化学で、溶液中の化学種の構造やダイナミクスを X 線や中性子線を用いて明らかにする研究を行っており、主に錯体化学や物理化学の分野での活動を行ってきました。福岡に赴任して以来、分析化学会にお世話になり、九州支部ではこれまで若手の会、分析化学討論会、分析化学年会、分析化学講習会の実行委員や委員長をお引き受けしてまいりました。しかしながら、分析化学にどっぷり浸かって研究するというよりも、どちらかというとなんか分析化学のお手伝いをさせていただくという意識でした。しかしながら、今回、九州支部長を拝命した以上、そのような意識では到底重責を全うできません。これまで歴代の支部長先生の下で積み上げられてきた支部の伝統や活動を継承しつつ、更に発展させていくために微力を尽くしたいと思います。

他の分野から分析化学に入った者からみると、分析化学という学問体系は幅広く、異分野横断的であり、また、大学と企業が協力して産学連携事業が進めやすい分野と思います。また、種々の分析化学手

法の開発に伴い、バイオやナノ、界面といったキーワードに代表される細目分野に深化し、独自の学問分野に発展しています。このような分析化学の潮流を世の中に認知していただくためには、昨年度の事業仕分けでもわかりますように、情宣活動は極めて重要です。そのために、神崎副支部長を中心に九州支部のホームページを充実させたいと思います。また、九州支部のよき伝統である若手活動をさらに奨励・充実させることにより、次世代を担う若手研究者の育成に努めたいと思います。そのような充実した、かつ楽しい活動を通して、たくさんの学生会員が分析化学会に入会してくれるように奨励したいと思います。さらに、柳副支部長を中心に分析化学講習会や機器分析ワークショップ、支部見学会などの活動を通して、分析機器関連会社との連携を更に強めていきたいと思っています。平成22年度で予定している諸事業は例年とほぼ同じですが、何か新しいものを取り入れていければよいと願っています。

九州支部の益々の発展に会員の皆様のご支援とご協力をお願いします。

平成22年度役員は以下のとおりです。

支部長： 山口敏男（福岡大学理学部）
 副支部長： 神崎 亮（鹿児島大学理学部）
 柳 雅之（三井化学分析センター）
 監査： 下田満哉（九州大学大学院農学研究院）
 横下正彦（キューサイ分析研究所）
 庶務幹事： 塩路幸生（福岡大学理学部）
 会計幹事： 吉田亨次（福岡大学理学部）
 次期支部長： 片山佳樹（九州大学大学院工学研究院）



支部活動報告

2009年度 第二回常任幹事会

日程 平成22年2月20日（土）
 会場 九州大学農学部4号館610号室
 報告事項、議事につきましては支部ホームページ
http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/
 をご参照下さい。

今年度の支部活動は以下のとおりです。

第22回九州分析化学若手の会 春の講演会

日程 平成21年5月23日（土）
 会場 九州大学馬出キャンパス
 薬学部第一講堂

九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

日程 平成21年5月30日（土）
 会場 九州大学農学部4号館108号室

外国人講演会（Ralf Zimmermann 教授）

日程 平成21年6月15日（月）
 会場 九州大学伊都キャンパス物質系5番講義室

2009年度 第一回常任幹事会

日程 平成21年6月27日（土）
 会場 九州大学農学部4号館610号室

第46回化学関連支部合同九州大会

日程 平成21年7月11日（土）
 会場 北九州国際会議場

第27回九州分析化学若手の会 夏季セミナー

日程 平成21年7月30日（木）～31日（金）
 会場 宮崎観光ホテル

第50回分析化学講習会

日程 平成21年8月5日（水）～8月7日（金）
 会場 第一薬科大学

学会賞候補者推薦委員会

日程 平成21年11月13日（金）
 会場 九州大学 21世紀交流プラザ

2009年度 支部幹事会

日程 平成21年11月13日（金）
 会場 九州大学 21世紀交流プラザ
 多目的ホール

2009年度九州支部講演会・見学会

日程 平成21年11月14日（土）
 会場 講演会 九州大学 21世紀交流プラザ
 多目的ホール
 見学会 (株)キューサイ分析研究所



2009 年度九州支部機器分析ワークショップ

日程 平成21年11月17日(火)～19日(木)
会場 九州大学箱崎キャンパス創造パビリオン

学会共催・後援・協賛

第16回クロマトグラフィーシンポジウム

日程 平成21年5月28日(木)～30日(土)
会場 長崎大学文教キャンパス中部講堂

第27回九州分析化学若手の会 夏季セミナー開催報告

2009年7月30日(木)・31日(金)の1泊2日の日程で、宮崎観光ホテルを会場として第27回の夏季セミナーが開催された。この夏季セミナーは1983年から開催されており、九州地区における分析化学関連の若手教員や大学院生を中心に情報交換と親睦を目的に講演会・ポスター発表及び情報交換会などを行っている。今回の参加者数は、連携する北海道支部からの参加者を含め計160名となった。

井上 高教副支部長(大分大工)による開会の挨拶の後、特別企画:「日本分析化学会北海道・九州支部若手の交流」として福岡 正巳先生(北海道大院工)、石田 晃彦先生(北海道大院工)による招待講演が行われた。福岡先生には「有機汚染物質の無害化促進に有用な腐植物質の機能解明」の演題でご講演いただき、栗崎 弘輔先生(九州大院理)に座長をご担当いただいた。複雑な成分から構成される腐食物質が水圏・土壌環境の修復に寄与するメカニズムについて、その構造的要因を明らかにした先生の研究成果について紹介いただき、会場からも多数の質問がなされた。石田先生には「マイクロチップ型液体クロマトグラフィーの開発ーポンプから検出器までの小型化ー」の演題でご講演いただき、井上 高教先生(大分大工)に座長をご担当いただいた。高速液体クロマトグラフィー(HPLC)の要素を集積したマイクロチップデバイスの開発についての先生の取り組みを紹介いただけるとともに、装置開発における修士学生の大胆な発想について紹介いただき、参加した学生にとっても勇気づけられるご講演であった。

次いで、特別講演として、電子スピン共鳴法(ESR)に関する研究に携われてきた中島 暉先生(宮崎大医)に「ESRが教えてくれたこと」(座長:大島)の演題でご講演いただいた。ESRに関する研究の歴史的な発展の流れから、関連研究の課題、



最近の先生の研究テーマまで、先生が長年の研究・開発で培われた深い造詣に基づくご講演をいただき、ESRになじみの浅い若手研究者にとって意義深い内容を拝聴することができた。



特別講演に続き、今年度支部奨励賞受賞者の表彰式と受賞講演が行われた。受賞者は、山崎 信哉氏(九州大院理・D2)、田中 真由美氏(九州大院工・D3)、Sameh Abdel-Raouf Ahmed氏(長崎大院医歯薬・D3)であり、井倉 則之先生(九州大院農)に座長をご担当いただいて山崎氏による受賞講演が行われた。受賞課題である「バクテリアルシフエラーゼ発光系に対する疎水性分子の作用機構の解明」について研究成果を講演いただき、会場からも活発な質問がなされた。受賞者の方々の更なる活躍と将来の支部への貢献が大いに期待される。

受賞講演ののち、若手の会総会が開かれた。浜瀬 健司先生(九州大院薬)より第22回九州分析化学若手の会 春の講演会の開催報告がなされた。夏季セミナー代表世話人の大島(宮崎大工)より同年5月に開催された分析化学若手交流シンポジウム@和歌山についても参加報告がなされ、続けて、年間行事と会計について報告がなされた。

夕刻より夕食をかねた情報交換会を開催した。下田 満哉九州支部長(九州大院農)のご挨拶に続き、馬場由成教授(宮崎大工)の乾杯で始まった夕食会は、中ほどで恒例の研究室紹介を行い、大学・企業の垣根を越えた交流を深めることができた。さらに二次会で親睦を深めることができた。

2日目は、朝9時より一般ポスター発表が行われた。発表件数は81件であり、各発表に対して活発な議論が行われた。1時間半強のポスター発表ののち、恒例により参加者全員による投票が行われた。集計の結果、田中 達也君(北大院工・M2)、廣田 和敏君(熊本大院自然・M2)、三次 百合香君(九州大院薬・M2)、上野 恭子君(九州大院薬・M1)、山本 千尋君(佐賀大院



工・M2)、川上 優芽君(九州大理・B4)、鹿田 潤平君(宮崎大院工・M1)、前田 香織君(宮崎大院工・M2)の計8名が九州分析化学若手賞に選ばれた。

その後、第46回化学関連支部合同九州大会で優秀ポスター賞の受賞者のうち本セミナーに参加した5名による模範ポスター講演が行われた。発表者は勝山 ゆか君(九大院理・M1)、井上 竜一君(福岡大薬・M2)、北崎 博太郎君(九大院工・M1)、伊藤華苗君(福岡大理・D1)、石田 成君(福大院理・M2)であり、それぞれ轟木 堅一郎先生(福岡大薬)、野間 誠司先生(九大院農)、石岡 寿雄先生(九大院総理工)、宗 伸明先生(九大院工)、梅林 泰宏先生(九大院理)に座長をご担当いただいた。



模範ポスター講演の終了後、閉会式が行われ、一般ポスター発表により選出された九州分析化学若手賞の表彰式が行われた。最後に次回代表世話人である大渡啓介先生(佐賀大理工)が第28回夏季セミナーの開催の予告をされ、来年の再会を約すとともに、全員で記念撮影をして閉会となった。

今回の夏季セミナーでも、九州支部奨励賞の受賞講演、九州分析化学ポスター賞受賞者による模範ポスター講演、分析化学若手賞の選出などの行事が執り行われた。また一昨年より始まった北海道支部との交流として、北海道支部より4名の参加を頂いた。

150名を越える1泊2日の夏期セミナーは事業規模も比較的大きく、その円滑な運営は支部からの多大な助成によって支えられています。また本セミナーには多数の企業から広告費の形で支援を頂きました。さらに開催地のみやざき観光コンベンション協会からも本セミナーの開催にあたって多大な助成を頂きました。今回の夏期セミナーはこうした各方面からの支援によって無事開催できたものであり、代表世話人として心から感謝を申し上げます。参加者へのアンケート結果も概ね好評で、主催者側として安堵しています。最後に、講演者、座長の皆様、参加いただいた多くの方々、開催にご協力くださった関係各位にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

〔宮崎大工 大島達也〕



お知らせ

2010年度「九州分析化学会賞」及び「九州分析化学奨励賞」募集について

【九州分析化学会賞応募規定（抜粋）】

対象者 原則として九州在住の日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切 推薦者はA4 1枚の推薦書（指定用紙）及び被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4 5枚程度、教育・支部運営についてA4 1枚程度、英文可）の正本1部、写し9部（計10部）を平成22年4月末日までに支部長に送付。

【九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）】

対象者 原則として、九州に在住する日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する社会人及び外国人留学生にあつては満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切 推薦者はA4 1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4 2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：平成22年4月1日～30日）までに支部長に送付。

募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

第71回分析化学討論会

会期 平成22年5月15日（土）～16日（日）
 会場 島根大学松江キャンパス
 内容 分析化学論文賞受賞講演 / 依頼講演 / 主題講演 / 一般講演（口頭・ポスター） / テクノレビュー講演（口頭・ポスター） / 若手ポスター講演 / 展示会 / 懇親会

討論主題

1. 水環境と分析化学
2. 新たなる分析化学の展開に向かって
3. 信頼性向上に役立つ分析化学

講演要旨締切 平成22年3月3日（水）
 参加予約締切 平成21年4月21日（水）

第23回九州分析化学若手の会 春の講演会

主催 九州分析化学若手の会
 日本分析化学会九州支部
 期日 平成22年5月22日（土）13:30 - 17:00
 会場 福岡女子大学附属図書館一階視聴覚室（福岡市東区香住ヶ丘 1-1-1）
 内容 分析化学に関する若手研究者間の親睦・勉強会・講演

講演

「蛍光分子間相互作用を利用する生体成分の高選択的分析」

（福岡大薬）吉田 秀幸 先生

「酸・塩基の昔と今」

（鹿児島大院理工）神崎 亮 先生

「レーザーを用いる環境・細胞計測」

（九大院工）内村 智博 先生

「異分野連携による新技術の創成」

（阪大院工）井上 豪 先生

参加費 無料

申込締切 2010年5月10日（月）

申込方法 参加者氏名（ふりがな、性別）のほか、所属と職位、連絡先（住所、電話、FAX、e-mail）を明記して e-mail にてお申し込みください。講演会終了後に情報交換会（17:15～）を予定していますので併せてご参加下さい。

連絡先 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘 1-1-1
 福岡女子大学 人間環境学部 栄養健康科学科
 石川洋哉 Tel& Fax: 092-661-2522

e-mail : ishikawa@fwu.ac.jp

第47回化学関連支部合同九州大会

共催 日本分析化学会九州支部、高分子学会九州支部、繊維学会西部支部、日本農芸化学会西日本支部、化学工学会九州支部、日本化学会九州支部、有機合成化学協会九州山口支部、電気化学会九州支部

日時：2010年7月10日（土） 9:00～17:00

場所：北九州国際会議場
 （北九州市小倉北区浅野 3-9-30）

発表申込期間 : 3月8日(月)~4月2日(金)

予稿原稿締切 : 5月14日(金)

講演

特別講演(1件)、依頼講演(8件、各支部担当)

日本分析化学会九州支部推薦依頼講演
(15:10-15:40)「光学異性体を区別する
アミノ酸次世代分析装置の開発と医療展開」
濱瀬 健司(九州大学大学院薬学研究院)

一般講演はポスター発表のみ(外国人研究者交流ポスター発表を含む)

発表申込方法 web上からの申込を原則とさせていただきます。本大会のホームページ

(<http://210.233.60.66/~godo47/>)へアクセスし、その指示に従って下さい。web登録の不可能な場合は、テキスト形式で下記の必要事項を記入の上、E-mailアドレス(qsibutcf@cstf.kyushu-u.ac.jp)へお送り下さい。申込み締切り後に、受理通知のメールをお送りします。締切後、1週間以内に通知がない場合は、お問い合わせ下さい。

申込必要事項 1)希望分類番号, 2)発表演題, 3)研究者所属機関(略称), 4)研究者氏名(発表者の前に○印), 5)連絡先の住所及び氏名, 6)電話番号, 7)Fax番号, 8)E-mailアドレス, 9)発表者の所属学協会(申込中を含む, 複数可), 10)発表者の学年・職及び年齢, 11)外国人研究者ポスター発表

希望分類番号は下記のいずれかをご指定下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学, (4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学

予稿原稿執筆要領 予稿原稿執筆要項(約800字図表を含む)は、大会ホームページで公開します。執筆要項に従って作成し、「プリント」したものを下記まで郵送して下さい(印刷時のトラブルを避けるため、pdfファイルでの受付は行いませんので、ご了承下さい)。

予稿原稿送付先

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1九州大学大学院理学研究院 化学部門内 有機合成化学会協会九州山口支部 第47回化学関連支部合同九州大会実行委員会(新藤 充)宛

参加登録費 参加費は無料。発表登録料(予稿集1冊含む)は、原則、事前振込と致します。発表者以外の参加者には予稿集を下記金額で販売します(当日お渡し致します)。

[事前振込の場合]発表登録料2,000円,予稿集1,000円,懇親会費4,000円(一般)1,500円(学生)

[当日払いの場合]発表登録料3,000円,予稿集2,000円,懇親会費5,000円(一般)2,000円(学生)

(振込先) 郵便振替にてお願いします。

口座番号:01770-0-140448

口座名称:第47回化学関連支部合同九州大会

締切:6月30日(水)迄にお納め下さい。

振替用紙通信欄に所属・氏名・振込金額の内訳を明記して下さい。(郵便振替受領書を持って領収に代えさせていただきます。お振込み頂いた後の発表キャンセルにつきましては、返金しかねますので御注意願います。

懇親会 : 17:30(予定) 同国際会議場イベントホールにて

外国人研究者の交流ポスター発表の方へ発表申込要領は上記に従って下さい(但し、申込必要事項欄の11)をチェックする必要あり)。英語で要旨をお書き下さい。また、本登録をされた外国人研究者は発表登録費が無料となりますが、該当セッションでの本発表と外国人研究者交流ポスター発表セッションでの発表の2回の発表が必要となります(懇親会費は無料ではありません)。また、外国人研究者交流ポスター発表には特別枠として優秀ポスター賞を設け、事務局より賞状進呈と懇親会招待をします。

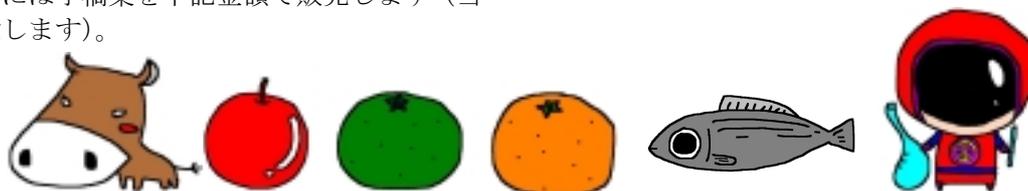
問合せ先 第47回化学関連支部合同九州大会実行委員会 代表世話人:新藤 充(E-mail:qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp, TEL & FAX:092-642-3574)

第28回九州分析化学若手の会 夏季セミナー

主催 九州分析化学若手の会
日本分析化学会九州支部
会期 平成22年7月30(金)~31(土)(予定)
会場 雲仙みかどホテル本館(予定)
内容 分析化学に関する若手研究者間の勉強会・講演・親睦。九州分析化学奨励賞受賞講演を含む。

代表世話人
佐賀大学理工学部 大渡啓介
E-Mail:ohtok@cc.saga-u.ac.jp

詳細につきましては、「ぶんせき」誌の会告や支部のホームページを通してご案内させていただきます。



第51回分析化学講習会

日時 平成22年8月3日(水)～5日(金)(予定)
 実行委員長 九州大学大学院薬学研究院
 浜瀬健司

東京コンファレンス2010

会期 平成22年9月1日(水)～3日(金)
 会場 幕張メッセ国際展示場

日本分析化学会第59年会

会期 平成22年9月15日(水)～17日(金)
 会場 東北大学川内北キャンパス
 E-mail: 59nenkai@anal.chem.tohoku.ac.jp
 詳細は「ぶんせき」4・5月号に掲載予定です。

2010年度 支部・本部関係役員

1. 本部関係

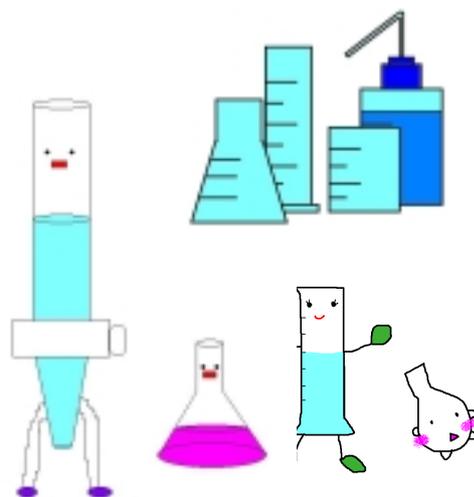
理事(1名) 片山佳樹(九大院工)
 2010年度、2011年度代議員(9名)
 桐山哲也(鹿児島大教育)、黒木広明(第一薬大)、黒田直敬(長崎大院医歯薬)、高椋利幸(佐賀大理工)、富安卓滋(鹿児島大院理工)、中山守雄(長崎大院医歯薬)、能田均(福岡大薬)、肥後盛秀(鹿児島大院理工)、松井利郎(九大院農)
 編集委員

ぶんせき: 濱瀬健司(九大院薬)
 分析化学: 富安卓滋(鹿児島大院理工)
 Anal. Sci.: 原田明(九大院総理工)

2. 支部関係

支部長 山口敏男(福岡大理)
 副支部長 神崎亮(鹿児島大院理工)
 副支部長 柳雅之(三井化学分析センター)
 監査 下田満哉(九大院農)
 横下正彦(キューサイ分析研究所)
 庶務幹事 塩路幸生(福岡大理)
 会計幹事 吉田亨次(福岡大理)
 次期支部長 片山佳樹(九大院工)
 常任幹事(13名)
 (九工大・福教大) 原田雅章(福教大)
 (九大院工) 片山佳樹(九大院工)
 (九大院理) 岡上吉広(九大院理)
 (九大院薬・第一薬大) 黒木広明(第一薬大)
 (九大院農・九産大) 松井利郎(九大院農)
 (九大筑紫・近大九州工) 原田明(九大院総理工)

(福岡大) 能田均(福岡大薬)
 (佐賀) 松田直樹(産総研九州センター)
 (長崎・熊本) 中島憲一郎(長崎大院医歯薬総合)
 (長崎・熊本) 戸田敬(熊本大理)
 (大分・宮崎) 井上高教(大分大工)
 (鹿児島・沖縄) 富安卓滋(鹿児島大院理工)
 (企業・官公庁) 内嶋茂(三菱化学科学技術研究センター黒崎分析室)



事務局より

日本分析化学会九州支部ホームページのご案内

九州支部ホームページでは、以下のような内容を掲載しています。新しい情報を順次追加し、会員の皆様に役立つ情報をタイムリーに提供致します。是非、定期的にチェックをして下さい。

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

1. 支部長挨拶
2. 新着情報(行事予定、お知らせ等)
3. 支部ニュース(バックナンバーのPDFファイル)
4. 議事録(幹事会、常任幹事会の議事録)
5. 本部、各支部、九州支部内研究機関へのリンク
6. 入会案内、入会申込用紙(PDFファイル)
7. 日本分析化学会九州支部内規
8. 九州分析化学会賞、奨励賞規定
9. 九州支部事務局スタッフ

会員の声をお送り下さい

分析技術、研究、教育、ご提案など何でも結構です。分析に関する質問などでは、ホームページに掲載することにより支部会員の方々からいろいろなご助

言を頂いたり、新たなディスカッションに発展するなど、有意義な情報交換の機会になることが期待できます。ぜひ、電子メールで支部事務局までお願いします。

入会を歓迎します！

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。支部ホームページからも入会申込用紙（PDF ファイル）をダウンロードできます。

平成 21 年度九州支部庶務幹事を終えるにあたって

この1年間、分析化学会九州支部の庶務幹事という大変貴重(?)な経験をさせて頂きました。今年度は分析化学講習会の庶務幹事も同時に仰せつかっていたため、やりやすい面もありましたが、その反面、年中何かしらの行事が押し寄せ、分析化学会九州支部に“どっぷり”と漬かってしまいました。支部行事の中でも若手の会は、他学会と比較しても大変活発で魅力的な会だと思います。今後予算面で厳しくなるかもしれませんが、次代を担う若い研究者の育成のためにもこの活発な活動が続けられれば良いと思います。これまで分析化学会にほとんど関与して来なかった私が、庶務幹事という大役を何とか（会員の皆様にはご不満だったとは思いますが）終えることが出来ましたのは、支部長の下田先生をはじめとする副支部長、常任幹事等、皆様方の暖かいご協力の賜だと感謝しております。有り難うございました。

井倉 則之

(九州大学大学院農学研究院)



九州支部会計幹事を退任するにあたって

平成 21 年の 2 月頃に日本分析化学会に入会し、その月に平成 20 年度第 2 回常任幹事会に次期会計幹事として出席し、気がつけばそのまま執行部として九州支部の流れに乗ってしまっていました。また、分析化学講習会の会計まで仰せつかり、数字ばかり見てあたふたしていた気がする 1 年間でした。何も知らない身で引き継ぎ資料を頼りにして出したご連絡やお願ひにもかかわらず、内容をご理解くださり、ご対応くださった先生方にはお礼の言葉しかありません。また、このような状態でも「通じる」引継ぎ書類を作成してきてくださった歴代の会計幹事の先生方にも頭が下がる思いです。この 1 年間のご協力、本当にありがとうございました。支部活動には若手の会をはじめとして有益なものが多くあります。予算面では厳しさを増していきますが、ぜひ継続させていく知恵を出し合わなければと思う今日この頃です。

野間 誠司 (九州大学大学院農学研究院)

編集後記

この支部ニュース Vol.21 号の発行が、2009 年度の副支部長としての最後の仕事になります。日々の生活に追われ気づくとニュースの発行時期になってしまっていました。支部ニュースのあり方をもう少しじっくり考えて取り組んでみれば、もっと新しい可能性があったのではないかと思われてなりません。次の副支部長となる鹿児島大学神崎先生はとてまバイタリティーのある方なので、きっと枠にとらわれず新しい支部ニュースの可能性を広げてくださることと思います。一年間ありがとうございました。

支部ニュース発行責任者
井上高教 (副支部長)

表紙の解答は、

上から順に 沖縄県・福岡県・鹿児島県・大分県・長崎県・宮崎県・熊本県・佐賀県です、それぞれのシンボルの意味するところは皆さんでお調べ下さい。

2009 年度日本分析化学会九州支部事務局

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学大学院農学研究院生物機能科学部門
食品バイオ工学講座 食品製造工学研究分野内

支部長	下田 満哉(九州大学大学院農学研究院) E-mail: mshimoda@agr.kyushu-u.ac.jp	TEL: 092-642-3015 FAX: 092-642-3015
副支部長	井上 高教(大分大学工学部) E-mail: tinoue@cc.oita-u.ac.jp	TEL: 097-554-7898 FAX: 097-554-7898
副支部長	横下正彦((株)キューサイ分析研究所) E-mail: yokoshita@kyusai.co.jp	TEL: 0940-37-8070
庶務幹事	井倉 則之(九州大学大学院農学研究院) E-mail: igura@agr.kyushu-u.ac.jp	TEL: 092-642-3016 FAX: 092-642-3016
会計幹事	野間 誠司(九州大学大学院農学研究院) E-mail: nomas@agr.kyushu-u.ac.jp	TEL: 092-642-3018 FAX: 092-642-3018